

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問合わせ

半田市企画部秘書課
課長 杉浦 郁夫
0569-84-0602

令和4年10月28日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	ハナヒカリプロジェクト2022開催報告
日 時	11月01日(火) 16時30分～
場 所	半田市役所 市長応接室(4階) Tel (0569) 21-3111
主催者	ハナヒカリプロジェクト実行委員会
参加者／対象者 氏名・年齢など	【ハナヒカリプロジェクト実行委員会】 ハナヒカリプロジェクト実行委員会代表 伊藤精崇(いとう きよたか) 【参加企業】 サンレー交通株式会社 久保田宏明(くぼた ひろあき) 株式会社CAC 平賀華恵(ひらが はなえ) 株式会社ハートプランナーズ 市野雄大(いちのゆうだい) 前浪李奈(まえなみ りな) 【参加学生】(半田商業高校生) 大岩 真巳(おおいわ まみ)、森田 楓音(もりた かのん)、椎屋 虎次郎(しいや こじろう)、白井 凜(しらい りん)、富國 杏菜(とみくみ あんな)、 山下 拓磨(やました たくま) 半田商業高校 教員 鈴木庸太(すずき やすひろ)
趣 旨 (目的)	地域の方々(若者を中心)に矢勝川地域の伝統・価値を知ってもらい、 能動的に動く人材になっていただくため、ハナヒカリプロジェクト2022を開催し、 その報告を市長にします。
内 容	ごんの秋まつり開催期間中の9月25日(日)、新美南吉記念館広場ならびに矢 勝川周辺にて下記のとおり内容にて事業をおこないました。 1. オリジナルちょうちんを作成し木枠アーチを組立、提灯を飾りつけライトアップ 2. 矢勝川の堤沿い彼岸花をLED 投光器30台によりライトアップ 3. 常滑焼のランプシェードを用いたライトアップ 4. 光ファイバーと粘土でつくられた狐のモニュメントのライトアップ 5. オリジナル提灯作成ワークショップ 設営・運営には地域の企業・学生主導でおこないました。また、当日の来場者はおよ そ2,500～3,000人でした。

担当者 情熱メッセージ	本事業会場となった岩滑地区矢勝川付近は新美南吉が生まれ育った地として、たくさんの人々の想いが詰まった伝統ある場所となります。しかしながら、地域に携わる方々の高齢化が進み、岩滑地区矢勝川付近の魅力を維持することが難しい状況をむかえています。 本事業のライトアップは設営から運営まで地元の学生、企業の方々に参画していただいたこと、当日多くの来場者が訪れたことから、ライトアップ事業を通じて若い世代や地域の企業にこの地域の魅力や想いを知っていただいて、地域の魅力の持続、更なる向上の一助となる事業を開催できたと確信しております。 （ハナヒカリプロジェクト実行委員会 代表 伊藤精崇）
別 紙	有 ・ 無
写 真	事前提供可 ・ 事後提供可

半田市企画課企画広報担当

0 5 6 9 - 8 4 - 0 6 0 5

